

# 6労組の団結力で要求を実現しよう!



## 16春闘スタート

関西生コン関連労働組合連合会（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・建交労関西支部・UAゼンセン・関生支部）は3月7日、協同会館アソシエで16春闘第1回集団交渉を開催した。

### 中小企業と労働者主導で業界再建に全力を



### 労使で協議しながら 未来志向の労使関係

冒頭、今春闘に臨む態度について大阪兵庫生コン経営者会の藤中会長は「広域協組の契約物件は長期のものがほとんどだ。15春闘では『先行投資』として賃上げを実施したが、各社はまだ生コン値上げの恩恵を受けていない。そうしたなかで労使で協議しながら着実に政策を実行し、未来志向の労使関係を築きたい」と語った。

続いて、関西生コン関連労働組合連合会の武議長が同じく労働側の態度表明を行った。

た。

武議長は「広域協組は歴史と現状に学び、大企業（メーカー）主導から中小企業主導に運営を変え、生コン価格の適正化に全力を尽くさなければならぬ。そのためにも、メーカーから自立し、労働組合と協力してゼネコンと闘う姿勢を明確にすることが必要。そして、共注共販・シェア運営によって内部団結を強化し、『信賞必罰』の組織原則を貫くことが求められる。

### 大幅賃上げや本勤化 重点課題に取り組み

今春闘では、大幅賃上げに加



えて日々雇用労働者の本勤化、生コン・セメント輸送運賃の引き上げなどを最重要課題として取り組む。労働側も交渉での解決に向けて全力を尽くすが、3月末までに解決しない場合には行動に突入する」と通告した。

この後、労組連合会・岡元事務局長が統一要求について詳細に説明し、第1回集交は終了。中小企業・労働者主導の業界再建をめざす16春闘が幕を開けた。



関西生コン関連労働組合連合会

（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・ 大阪市西区川口2-4-28  
建交労関西支部・UAゼンセン・関生支部）TEL.06(6583)5546

# 16春闘共同ニュース

2016年  
3月9日号

## 16春闘の目玉はこれだ!!

## 本勤化・人員補充を勝ち取るう!

## ◆賃金引き上げについて

各労組の要求額とする。

本 勤/月額 連帯:50,000円以上 建交労:40,000円以上  
 生コン産労:15,000円以上 全港湾:20,000円以上  
 UAゼンセン:10,000円以上  
 日々雇用/日額 2,000円以上

## ◆年間一時金について

本 勤/200万円以上 日々雇用/2時間保障  
 (夏6月16日~8月末日・冬11月1日~12月末日)

## ◆総合福利について

本 勤/15万円以上 (※実施については各労組ごと協議)

## ◆人員補充について

1車1.1人制が基本。満たない企業は必要人員の確保。

## ◆定年制・雇用継続について

定年制を廃止するか、定年年齢を年金受給開始年齢または65歳まで引き上げること。また、定年延長・雇用継続制度を理由とする賃金・一時金の切り下げは行わない。

## ◆輸送運賃の最低基準の確立について

## ①傭車などの輸送運賃の引き上げ

大型車1台 日額6万円 月額120万円最低保障  
 中型車1台 日額5万円 月額100万円最低保障  
 小型車1台 日額4万円 月額 80万円最低保障

## ②輸送契約について

輸送業者の選定は、連合会が推薦する業者と専属輸送契約を締結されること。

## ◆バラセメント輸送

- ①バラセメント輸送運賃の引き上げ・最低運賃の設定
  - ②SSの共同利用
  - ③先方引取の廃止
  - ④バラ専の再開
  - ⑤適正人員の配置と正規雇用化
- 上記の事項をバラセメント輸送における業界秩序確立と経営危機打開にむけ、各セメントメーカーおよび販売店・バラセメント輸送企業に求める。

## ◆過剰サービスの撤廃

現在、広域協組の一部加盟社から「土曜稼働を行いたい」との声が聞かれる。土曜稼働を認めれば年間休日125日制は崩される。生コン労働者が長年闘って勝ち取ってきた権利を奪うことは許されない。また、供給過多の業界側にとっても需給ギャップを是正する上で必要な政策だ。広域協組は毅然とした姿勢で「土曜稼働の廃止」を堅持すべきだ。

健全な労使関係築き業界を再建しよう!